

〔5〕大会役員

競技委員長	玉川 裕夫（大阪大学）
専門委員	本間 正信（神戸大学）
総務委員	寺田 憲司、武富 邦秀、森 宏之、徳野 恵（大阪大学）

〔6〕競技役員

審判長	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
副審判長	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
副審判長	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
機械審判	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
泳法審判員	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
出発合図員	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
折返し観察員	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）
救護員	（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部（予定）

〔7〕学生役員

総務員、出発合図員、機械操作員、招集員、通告員、音響員、電光操作員、記録員、賞典員
（大阪大学及び（公財）日本水泳連盟学生委員会関西支部）

学生補助員

各参加大学学生（各大学の部員数に応じて1～3名）

〔8〕実施要項

1. 参加申込 締切期日 平成27年6月12日（金）必着
 - （1）申込先・・・〒565-0871 吹田市山田丘1-1
大阪大学学生・キャリア支援課（TEL：06-6879-7120）
 - （2）参加資格
 - （ア）本大会規程第13条適用、2015年（平成27年度）（公財）日本水泳連盟の登録競技者。
 - （イ）選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。
 - （3）参加人数
 - （ア）1種目につき1大学3名以内（ただし、リレーは除く。）
 - （イ）1人2種目以内（同上）
 - （ウ）リレーは1大学1チームとする。（オープン参加を含めて4チーム以内）
 - （4）申込方法・・・所定の依頼方法（参加申込）により提出すること。

2. 競技方法等

(1) 試合方法

- (ア) 男女別学校対抗とする。
- (イ) 総合得点法により、団体順位を決定する。得点累加法による団体競技とする。
- (ウ) 個人種目においては予選・決勝を行う(800、1500m種目を除く)。800、1500m自由形およびリレー種目はタイムレース決勝とする。
- (エ) 個人種目における決勝出場者は、8名とし、2名の補欠をとる。なお、決勝進出者が8名を超える場合は抽選とする。ただし、予選が8名以内で行われる場合は、そのまま決勝とする。リレー種目については、タイムレース決勝とする。

(2) 得点

1位9点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点。ただし、リレー種目は以上の得点を2倍する。

(3) 順位決定

総合得点法により団体順位を決定する。ただし同点の場合は、以下の順序にしたがって順位を決定する。

1. リレーの総得点
2. 入賞者数の数(リレーは4とする)
3. 1位の数、2位の数・・・以下順次8位の数まで

(4) 試合規則・・・現行の(公財)日本水泳連盟競技規則による。

3. 表彰・・・3位までとする。

4. その他

- (1) 大会1日目、2日目の午前9時15分より、各大学のマネージャーが集まり競技規定、注意事項等の確認を行う。
- (2) 参加大学は学生補助員1～3名を出すこと。

競 技 規 定

1. 競技規則は、現行の（公財）日本水泳連盟の競技規則に準ずる。（水着規定、商業ロゴ規定を遵守のこと）
2. 出場制限は、個人種目は1種目について1大学3名以内と、1人2種目以内とする。リレー種目は、1大学1チームとする。
3. 個人種目における決勝出場者は、8名とする。なお、決勝進出者が8名を超える場合は抽選とする。ただし、予選が8名以内で行われる場合は、そのまま決勝とする。リレー種目については、タイムレース決勝とする。着順判定は、タッチ板を使用して行う。

注 意 事 項

1. 競技会場の開場時間は、午前9時とする。
2. 大会1日目及び2日目の午前9時15分から各大学のマネージャーが集まり競技規定や注意事項等の確認を行うので、必ず集合すること。
3. 参加大学は指定された人数の学生補助員を出すこと。
4. 申込は所定の期日までにWEBエントリーにて行い、その後、所定の書類を大会事務局に提出すること。
5. 応援席・休憩所は指定した場所とする。
6. 貴重品の管理は各大学で責任を持って行うこと。
7. プールサイドは、競技役員以外は全員素足のこと。競技役員は底が白の靴を使用すること。
8. 会場内のコンセントの使用は禁止とする。

総 合 優 勝 制 度 得 点

1位－10点、2位－7点、3位－5点、4位－4点、
ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。